

まなびのナビ

- 1 学習用具の準備と整理 2
- 2 授業の「はじめ」と「おわり」 3
- 3 タブレットの使い方 3
- 4 家庭学習の仕方 4

くらしのナビ

- 5 龍王小学校の1日 6
- 6 登下校の仕方 7
- 7 学習の準備 8
- 8 校内での過ごし方 9
- 9 図書室の利用の仕方 10
- 10 給食配膳の仕方 11
- 11 遊び方 12
- 12 青空広場・体育館での過ごし方 13
- 13 そうじの仕方 14
- 14 放課後の生活 15
- 15 服装・身だしなみ 16
- 16 持ち物 17
- 17 特別な指導について 17

1 学習用具の準備と整理

(1) ふでばこ

○ 3年生までは、箱形を使う。

○ えんぴつは、5・6本程度。

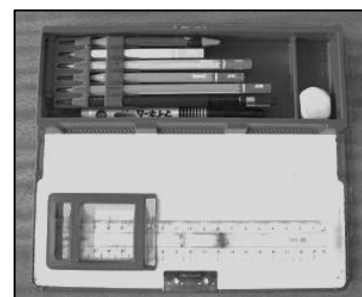
(えんぴつは、2B、Bのシンプルなもの)

○ 赤青えんぴつ、赤および青ボールペン(5、6年)、

ラインマーカー1本(5、6年)

○ 消しゴム(白・黒・においのないもの・よく消えるもの)

○ 15cm程度のものさし(目盛りが見えやすいシンプルなもの)



【ふでばこの中】

(2) 下じき

○ 1・2年生はこうひつ習字用で、無地のもの。(3年生以上は、シンプルなもの)

○ ノートに文字を書くときは、必ず下じきを使う。

(3) 道具袋 (3～6年)・お道具箱 (1・2年)

○ のり、はさみ、色えんぴつ(クーピー)、クレヨン、名前ペンを、すぐ使えるように整理しておく。

○ 道具袋のひもは、床につかない長さに調節する。



【つくえの中 1・2年生】

(4) つくえの中の整理

○ 右側に教科書・ノート類を時間わり順に、左側に道具箱を置く。(1、2年)

○ 使った教科書などは、順に下の方に入れる。

○ 1週間に1度は道具袋やお道具箱、机の中を整理する。

※持ち物には名前を書く。

ちょうどよい
おお
大きさの
どうぐぶくろ
道具袋



【つくえの中 3～6年生】

2 授業の「はじめ」と「おわり」

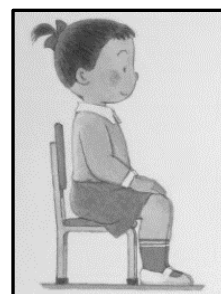
(1) はじめ

○チャイムの合図で、^{あいず}日^{にちよく}直^{はじ}が始めのあいさつをする。

○「立腰」^{りつよう} 【「直れ」(先生)^{なお せんせい}】

「これから〇〇の学^{がくしゅう}習^{はじ}を始めます」 → 「はいっ」

「れい」 → 「おねがいします」



「立腰」と声をかけられたら、背もたれにもたれないように椅子に腰をかけ、床に足をつけ腰の骨を立てるように背筋を伸ばして、目を閉じる。

(2) おわり

○「立腰」^{りつよう} 【「直れ」(先生)^{なお せんせい}】

「これで〇〇の学^{がくしゅう}習^おを終わります」 → 「はいっ」

「れい」 → 「ありがとうございました」

○学^{がくしゅう}習^{どうぐ}道具^{かたづ}を片付ける。

○次^{つぎ}の準備^{じゅんび}をして、休^{きゅうけい}憩^いをする。



【机の上の準備】

タブレットはルール
を守って使おう。

3 タブレットの使い方

【タブレットの準備や片付け】

○決められた場所^きに^{ばしょ}てい^おねいに置く。

○シールが貼^はってある方^{ほう}を下^{した}にして持ち運ぶ。

○教室の外^{きょうしつ}に持ち出^{そと}すときは、ケースに^い入^もれて持ち運ぶ。

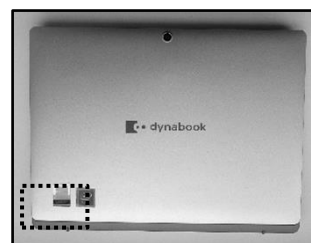
【タブレットを使う時の約束】

○タブレットの設定^{せってい}を変^かえたり、ほかの人のタブレットに^{ひと}触^{さわ}ったりしない。

○学^{がくしゅう}習^い以外^{がい}で使^{しょう}用^きしない。(許可^{きょか}されたアプリのみ使^{つか}う)

○落^おとしたり壊^{こわ}したりした場合は^{ばあい}す^{せんせい}ぐに先生^{つた}に伝える。

下^{した}



- 机つくえの中の左側なか ひだりがわにタブレットいを入れる。
- 4校時終了後は、充電庫こうじしゅうりょうごに片付けじゅうでんこ かたづる。
- (掃除そうじのとき机つくえの中から落ちるのを防ぐお ふせ。)

4 家庭学習かていがくしゅうの仕方しかた

家庭学習かていがくしゅうをきちんとすると

タイピング練習れんしゅうやドリルパーク
などをやってみましょう。

- ◎今日の授業きょうの整理じゆぎょうに役立ちます。
- ◎次の授業つぎの準備じゆぎょうになります。
- ◎苦手なところにがてが分かるようになります。

【目標時間もくひょうじかん】

- ・ 低学年ていがくねん 20分以上ぶんいじょう
- ・ 中学年ちゅうがくねん 40分以上ぶんいじょう
- ・ 高学年こうがくねん 60分以上ぶんいじょう

【取り組むコツとく】

- 取り組む時刻とくと時間じかんを決めておく。
- テレビをつけない。
- 1つやりはじめたらそれが終わるまおで、集中しゅうちゅうして行く。

【やりかた】

- 学校の宿題がっこう しゅくだいをする。
- 自分で進んでできる自主学習じぶん すす じしゅがくしゅうにチャレンジする。

☆分わからなかったところは、次つぎの日ひ、
先生せんせいにたずねるようにしよう！

【終わったらお】

- ① 明日あしたの授業じゆぎょうの用意よういをする。 (「2時間目は、図工じかんめだな。絵ずこうの具えはいるかな？」
「音楽おんがくはリコーダーひつようが必要もだ！」と持っていく物ものを考かんがえて準備じゅんびをしよう。)
- ② 鉛筆えんぴつをけずって筆箱ふでばこへ入れる。

こんな自主学習（例）をしよう！

ていがくねん 低学年	ちゅうがくねん 中学年	高学年
◎音読や暗唱。「、」や「。」に気をつけて読む。 ◎習ったひらがな・カタカナ・漢字の写し書き。小さく書く「っ」「や」「ゆ」「よ」がある言葉を正しく書く。漢字には読み仮名を書く。 ◎文づくり。「だれが、どうする」作文。「は」「を」「へ」を正しく使う。 ◎たしざん・ひきざん・九九を声に出してすらすら言う。ドリルを使って問題を解く。 ◎日記。あったこと（いつ、どこで、だれが、何をした）を順序にそって書く。思ったことや気持ち、話したことも書く。習った漢字を使って、ていねいな字で書く。かぎ「」やてん「、」まる「。」を書く場所に気を付ける。 じゅぎょう まな 授業で学んだことを かていがくしゅう 家庭学習や自分の せいかつ い 生活に生かすことが たいせつ 大切です。	◎授業の復習。ノートを見直し、授業で間違えた問題や友達が考えた方法で問題を解く。 ◎音読・暗唱。情景を思い浮かべ、リズムを感じとって読む。 ◎教科書の文の視写。 ◎国語辞典や漢字辞典を使って文をつくる。 ◎三角定規やコンパス、分度器を使って図形をかく。温度計やはかりの目盛りを読む。問題を解く。 ◎ローマ字の練習。 ◎47都道府県名を漢字で正しく書く。位置を覚える。 ◎次の日の授業の予習。 ◎興味のあることを調べ、まとめる。 ◎タブレットドリルなどを活用し復習する。 ◎「なぜ」「不思議」と思ったことを図書やインターネットなどで調べる。	◎予習・復習・課題克服。次の日に授業でどのようなことを学習するのか、教科書を読み、見通しをもつ。問題を解いてみて、よく分からないことがあったらメモをとる。ノートを見直ししたり、間違えた問題を解き直したりする。友達と討論したことをもう一度思い出し、文章で整理する。授業中、疑問に思ったことは、家で分かるまでいろいろな方法で調べる。 ◎詩、文語文、俳句、短歌、漢詩、古文などを読み込み、暗唱する。 ◎名詩や名文といわれるものの視写。 ◎感想文、説明文、手紙文、依頼文を書く。 ◎小数や分数の四則計算をする。割合や比、単位あたりの問題を解く。 ◎図や言葉、式を用いて説明しながら文章問題を解く。 ◎外国語の教科書の言葉を書き写す。 ◎教科書に出てくる重要な言葉についてさらに調べたり、ノートにまとめたりする。 ◎課題のある教科や単元等は、タブレットドリルなどを活用し復習する。 ◎「なぜ」「不思議」と思ったことを図書やインターネットなどで調べる。